



図5. フマル酸ケトチフェンパッチテスト1週後の陽性所見
製品の含有濃度は0.07%

(診断と治療経過) ケトチフェンによるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。ベタメタゾン1mg/日を3日間内服し、その後4日間0.5mg/日内服し、ステロイドを外用後、パッチテスト陰性の塩酸レボカバスチン点眼液を使用し略治した。

7. 引用文献

1. 高山かおる, 横関博雄, 松永佳世子, 片山一朗, 相場節也, 伊藤正俊, 池澤善郎, 足立厚子, 戸倉新樹, 夏秋優, 古川福実, 矢上晶子, 幸野健, 乾重樹, 池澤優子, 相原道子: 接触皮膚炎診療ガイドライン. 日皮会誌 投稿準備中, (2009).
2. Frosch PJ, Menne T, Lepoittevin J-P: *Contact Dermatitis* 4th Ed.: 1060-61 (2006).
3. Fisher's Contact Dermatitis 6th Ed. (2008)
4. 原万美子, 斎藤すみ, 山本紫, 他: 硫酸カナマイシンによる薬疹の1例. 臨皮 48: 871-874 (1994).
5. 東禹彦, 松村雅示, 岩佐真人: 過去7年間に経験したイミダゾール系抗真菌剤による接触皮膚炎の7例. 皮膚 30(増)5: 55-61 (1988).
6. 西岡和恵, 久本和夫, 小笠原万里枝: 硝酸ミコナゾールによる接触皮膚炎 イミダゾール系抗真菌剤の多剤に交差反応を示した1例. 皮膚 29(増)3: 227-230 (1987).
7. 松村英子, 飯泉陽子, 畑三恵子: イミダゾール系抗真菌剤主剤によるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚臨床 29: 673-677 (1987).
8. 藤本圭一, 橋本誠一: トルナフエートによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 皮膚 32